



# 美作市議会 田村秀昭 活動報告

持続可能な美作を田村秀昭と創る会 No.12 令和 6 (2024) 年 4 月 1 日発行 討議資料

## 任期 4 年目。起承転「結」の年です。まとめに入ります！

選挙から 3 年、いよいよ最終年になりました。すでに選挙モードの方もいますが、まだまだ今為すべきことがたくさんあります  
**人口減少問題は苛烈で、地方創生のために「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定め、完遂することが大切な時です。**

発行:事務局 美作市湯郷 323-8 0868-72-5621 (TEL & FAX) hidetamuraexpert0528@yahoo.co.jp

### 活動報告 (抜粋)

01 月 06 日	武蔵武道館初稽古
01 月 07 日	美作市二十歳の会
01 月 15 日	美作第一小授業参観 重度障がい者親の会
01 月 20 日	瀬戸内市長意見交換 くらしき未来K塾
01 月 21 日	ひとづくりセミナー
01 月 22 日	コリスの会
02 月 01 日	大原小学校授業参観
02 月 03 日	BeLive 高校 SDGs 会
02 月 07 日	湯郷ベル壮行会
02 月 08 日	地域福祉計画会議
02 月 14 日	議会運営委員会 勝衛衛生組合議会
02 月 18 日	ベネッセ教育研修会
02 月 19 日	重度障がい者親の会
02 月 21 日	3 月議会開会
02 月 22 日	地域福祉計画会議
02 月 23 日	若宮正子さん講演会
02 月 26 日	一般質問・議案質疑
~29 日	27 日、29 日登壇
03 月 04 日	予算審査特別委員会
06・07 日	予算審査特別委員会
03 月 09 日	湯郷ベル激励会
03 月 11 日	湯郷町内会長会議
03 月 12 日	文教厚生委員会
03 月 13 日	議会改革特別委員会
03 月 15 日	林野高校地域連携会
03 月 21 日	3 月議会閉会日

### 新年早々惨事が続き、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

- \* 能登半島地震、そして羽田空港衝突事故が起こり、お亡くなりになられた方にはお悔やみを申し上げます。また、怪我、被災などの皆様にはお見舞いを申し上げます。
- \* 美作第一小学校の 5 年生の発表を同僚議員と聴かせていただきました。湯郷あるいは美作市がこうだったらいいな、という忖度のない意見を思い切りぶつけられました。子育て、教育、まちづくり、観光政策などなど。そして、大原小学校でも 4 年生の発表を聴く機会をいただき、大原の秋祭りがどうあったらいいかという意見をストレートに、まさにその通りという考えを受け止めました。みんなこの街が好きなんです。
- \* 市内の医療施設がまた消えてゆきます。昨年、F 医院。そして 3 月末で K 医院。1 年以内に市内の医院があと 3 つくらい閉院するという情報もあります。地域医療が崩壊する可能性もあり、後継者不在、患者の減少が原因ではありますが、何とかしたいと水面下で抗っています。商店や喫茶店なども同様な事態が増えています。
- \* 林野の S さんの錦鯉 14 匹が勝央町に移住することになりました。2 年前に 20 匹ほどを大原の武蔵の里五輪坊の池に放しましたが残念ながら動物か鳥に持って行かれたのでしょうか、いなくなりました。岡山県観光連盟などを通して残りの移住先を探していましたが、この度第二の人（鯉）生を過ごす場所が決まりました。勝央町へ桜の季節以降お出かけの際には、是非出雲街道旧役所辺りの堀を覗いてください。
- \* 新年度予算の審査を 3 月議会中に行いました。新庁舎建設などのため、市発足以来初の大型予算となります。約 50 億円は今年度限りのもので、次年度以降は大幅に減額になります。そして、合併特例債という令和 6 年度が期限の予算を 70 億遣い、返済が 3 年後に始まります。現在、財政は大幅に改善されたというものの介護保険などの基金は底をつくのも遠くありません。2050 年に人口が 15,000 人を割るといわれる美作市の可能性を見出すためにも後継問題、空家問題など、市民の皆様の前広な努力もお願いを申し上げなくてはなりません。コンパクトシティを目指し、共助のまちづくりを始める時が来ました。行政が何でもしてくれる日は終焉です。
- \* 今議会において鈴木悦子議員への 2 回目の辞職勧告を採択しました。言葉では反省を繰り返しておりますが、残念ながらマスコミへの取材も拒否しています。法的な責任は取られましたが、倫理的にはまだです。今回は賛成 10 名に対し、反対者 6 名。政治倫理審査会の会長を務めた者としては議決に従ってほしいと思います。

## 令和 6 年 3 月定例議会（2 月 21 日～3 月 21 日）〈報告〉

2 月 27 日 通告番号 6 番、一般質問 2 日目に下記の質問をしました。

### 〈質問内容&答弁概略など〉

#### 美作市の地方創生政策（施策）の成果と反省

地方創生という言葉が生まれてちょうど 10 年になります。日本創生会議・人口減少問題検討分科会が 2040 年には全国 896 の市区町村が消滅可能性都市になると発表したのが発端です。地方創生（別名ローカルアベノミクス）の達成のために各自治体は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定して、人口減少問題をその特性に合わせて解決せよというものです。5 年ごとに計画を見直し、今年 2 期目の最終年となり、来年からの 3 期目の策定を定める時期です。これまでの成果と反省を問いました。



□目標を決めて推進してきたが概ね半数の項目でしか成果を出せていない。特に出生数 5 年で千名という目標は達成率 33%、合計特殊出生率も 66%と基本ベースとなる子どもが誕生することに関して厳しい状況です。新規雇用創出も 7.8%どまりです。一方、子育てサポート満足度は 99%、市外からの定住促進住宅への転入世帯数は 93%など効果が表れているものも一部あります。

□2050 年には美作市の人口が 1 万 5 千人を割り込むという報道に対して、副市長が座長となる「子ども政策会議」をスタートさせ、少子化対策に力を入れる。令和 6 年度中に第 2 期総合戦略の見直しをして、第 3 期の目標・施策を策定する、としています。また、2023 年度を初年度とする「デジタル田園都市国家構想総合戦略」で、①仕事をつくる②人の流れをつくる③結婚・出産・子育ての希望を叶える④魅力的な地域をつくるという 4 つの取組に傾注するという答弁です。

この 4 年間はコロナ禍で施策の実施の弊害となったことを差し引いても、具体的な成果を出せていないのは残念です。

□人口減少により市民生活の基盤がマイナスの影響を受けることを最小限にするため、医療、保健福祉、子育て支援、教育、商業などの都市機能、生活基盤の持続可能性を高めることに傾注するということですが、実際には商業施設、理美容室、医院、さらには娯楽施設などが継承問題、売上低下により閉鎖になっているのは裏面でお知らせしたとおりです。

□また、自然減を社会増で補う取組をさらに加速するということですが、高等教育機関（理系大学院）や自衛隊体育学校の誘致は全く進展していません。滋慶大学の誘致は昨年 4 月に否決しましたが、これらとは全く別の話です。また、交流人口つまり観光客の増加を目論みますが、市内の観光組織を統合する観光局（DMC：観光まちづくり会社）の構想も不安定な状態です。

□子どもが減るという現象において、昨年 5 月現在で市内の小中学の平均は 1 学年 180 人、園児は 140 人ですが、ここ数年の出生者数は 100 人程度となっています。

学校・園の統廃合を問うと、例えば児童・生徒 1 人だけの学校でも存在することを是として、現状維持を目指す意向です。

\* 市長が総括的に答弁された内容は、「美作市の置かれた特徴は、県内で一番小規模、面積が広いわりに中心部が小さい。移動に係るインフラも不十分。その中で育・食・住に力点を置き、18 歳の崖と言われる若者の転出を留める施策を執ることを考える。公民館や美作岡山道の北部延伸、子育て施策の充実などで可能性を探る。人口が 1 万 5 千人を切るという報道は決して正しいものとは思っていない。ダメだと思ったらダメなんだ。魅力的な美作市をどう守ってゆかかを議会とも熱心な議論をしてゆきたい。政府のマクロ的な政策の大転換が必要で、財政措置を子育て支援に充てることだ」と。

〈2 月 29 日の議案質疑〉補正予算の湯郷温泉観光協会隣接の「湯のまちトイレ」の建設費等の減額について質問しました。予算より 9,255 千円の減額となりましたが、結果として土地代を含めて 6,020 万円で完成をしたことを確認しました。なお、清掃管理は湯郷温泉観光協会にて年間 1,914 千円の委託料です。（令和 6 年度予算が確定しました）

文教厚生委員会で、15 議案（条例改正 9、廃止 1、補正予算 5）を審議し、全議案委員全員賛成で可決しました。介護保険の被保険者の区分変更があり、収入に応じて引き下げられたり、引き上げるケースもありますのでご注意ください。

議会改革特別委員会を経て、来年の選挙から議員定数が 2 名減の 16 名となります。人口減少下、当然の決断です。